

警告

- 必ず電源スイッチを切り、プラグを電源コンセントから抜いてください。
* けがや感電の原因になります。

- 各部取付けネジの点検
* 各部のネジの緩みや、外れているものがないか、確認してください。
緩みがある場合は締直し、外れている場合はお買上げの販売店にご相談ください。

- 手入の方法
* 布フィルター、微粉じんフィルターは使用頻度により、目詰まりを起こします。
フィルターは、こまめに手入れを行ってください。

○布フィルター
粉じんの付着状態により、軽く振ったり、はたいてください。粉じんの付着がひどいときは柔らかいブラシで落としてください。

○微粉じんフィルター
柔らかなハケで手入をしてください。ブラッシングしたり、剛毛のブラシで手入をすると、フィルターが損傷し、微粉じん吸引低下の原因になります。
また、水洗いはしないでください。

【注】粉じんをはたくときは、風向きを考え、周囲の迷惑にならないように、行ってください。

○スポンジフィルター
汚れが目立つ場合は、中性洗剤を溶かした水で軽く押し洗いを行い、汚れを取除いたら、清水で十分すすぎ、形を整え、十分、乾燥してから使用してください。

- 保管
* 高温多湿の場所を避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。
* 本体の上に、重量物を載せないようにして保管してください。

修理について

使用中、異常を感じた場合は、直ちに電源スイッチを切り、お買上げの販売店にご相談ください。

輸入元
株式会社三共コーポレーション
奈良県葛城市新町258番地1

販売元
コーナン商事株式会社
大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号
MADE IN CHINA 21-Jul

PRO-ACT

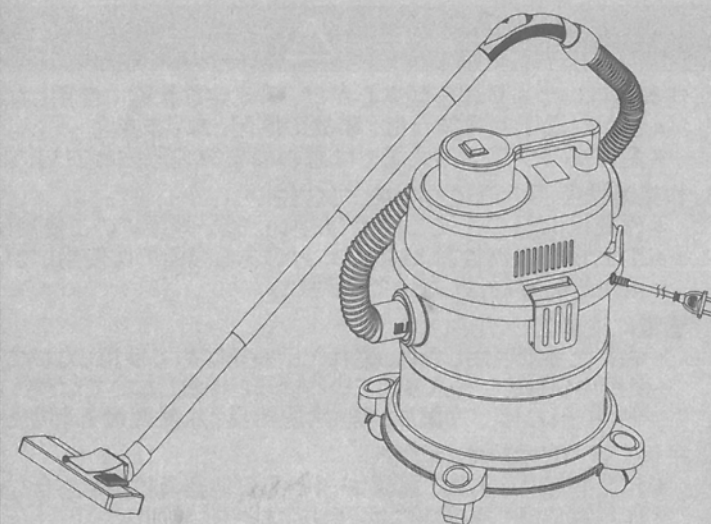
取扱説明書



二重絶縁

乾湿両用バキュームクリーナー
&ブロワ

型番：823975 / 823976



(イラストはクリーナー&ブロワ・16L)

【もくじ】

安全上のご注意……………1	*フィルターの確認……………6	*作業方法……………9
騒音について……………2	ご使用前の点検……………6	*作業別ブラシの選び方……………9
バキュームクリーナー&ブロワ ご使用に際し……………2	ご使用方法……………6	*フロート機構について……………9
電動工具を接続して使用 する場合……………3	*用途別フィルターの取付け・ 取外し方……………6	*粉じん、液体の廃棄……………10
各部の名称・付属部品 仕様・用途……………4	*微粉じんフィルターの取付け・ 取外し方……………7	*収納方法……………10
ご使用前の準備……………5	*ブロワとしての使用方法……………8	保守・点検・保管……………11
*ホースと延長パイプ、 各ブラシの取付け方……………5	*吸引力の調整方法……………8	修理について……………11
	*延長コードを使う場合……………8	
	*電源スイッチの操作方法……………8	

このたびは、PRO-ACT「乾湿両用バキュームクリーナー&ブロワ」をお買上げいただきありがとうございます。お買上げいただきました本品を安全に正しくご使用いただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後は、次のご使用に備え、取出しやすい場所に保管してください。

- * 仕様の一部を予告なく変更する場合があります。
- * 本機はDIY用に開発したものです。業務用としては使用しないでください。

安全上のご注意

本文中の「△警告」および「△注意」と区別し次のような意味を表します。
「△注意」に記載した内容でも状況によっては重大な事故につながる恐れがあります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載しています。必ず守ってください。

△警告	誤った取扱いをしたとき、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容についてのご注意。
△警告	誤った取扱いをしたとき、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容についてのご注意。

△ 警 告

- 作業場はいつも整理整頓を心がけ、不安定な状態で使用しないでください。
 - * 乱雑な場所や作業台は、事故の原因となります。
 - * 足元が不安定な作業場では思わぬ事故の原因となります。
- 作業場は周囲の環境も考慮してください。
 - * 作業場は明るくしてご使用ください。暗い場所でのご使用は事故の原因となります。
 - * 引火物や可燃性およびガスなどのある場所では使用しないでください。
 - * 雨中での使用はしないでください。
- 感電に注意してください。
 - * 濡れた手で使用したり、濡れた手袋をはめて使用しないでください。
 - * 使用中に体をアースされている機器と接触しないでください。
(例:電子レンジ、冷蔵庫、暖・冷房器具、冷蔵庫の外郭など)
- 子供を近づけないでください。
 - * 作業員以外、本体、電源コード、その他器具に触れさせないでください。
 - * 作業員以外、作業場には近づけないでください。
- 無理な使用はしないでください。
 - * 安全に効率よく作業するために無理な使用はせず、製品本体の能力に応じた使用をしてください。
 - * 純正部品以外の部品の装着や改造はしないでください。
 - * 指定された用途以外には使用しないでください。
- 防具を必ずご使用ください。
 - * 粉じんの多い場所ではマスクを、騒音の大きな場所ではイヤーマフなどを装着してください。
- 電源コードは乱暴に扱わないでください。
 - * 電源コードを持って本体を運んだり、電源コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - * 電源コードを熱、油、角のものが当たったところに近づけたり、周辺機器に押し潰されたりしないでください。
 - * 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買上げの販売店に修理を依頼してください。延長コードを使用の場合も同様に定期的に点検をしてください。
- 破損した部品や不具合箇所がないか確認をしてください。
 - * 使用する前に本体各部、その他の部品に欠損がないか、取付け状態に異常がないかを点検し、各部が正常に機能するか確認してください。
 - * 破損した各部品の交換・修理はお買上げの販売店に依頼してください。
- 次の場合は、本体の電源スイッチを切り、プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - * 使用しないときや、点検をする場合。
 - * その他、異常を感じたり、危険が予想される場合。
 - * 異常・故障時には直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発煙・発火・感電、けがの原因になります。
- 修理は販売店に依頼してください。
 - * この製品は、該当する安全規格に適合しています。改造はしないでください。
 - * 修理は必ずお買上げの販売店に依頼してください。
 - * 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な機能を損ねるだけでなく、事故やけがの原因になります。

11. 点検・保管には次のことを守ってください。

- * 点検時は必ず、電源スイッチが切れていることと、プラグが電源コンセントから抜かれていることを確認してから行ってください。
- * 樹脂部品の汚れの手入れは中性洗剤を濡れた布などに含ませたもので拭き取り、シンナーなどの揮発性物質のものは避けてください。
- * 保管は施錠ができ、子供の手の届かない、湿気のない乾燥した状態で保管できる場所をお選びください。

騒音について

使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県の条例で定める騒音規制値以下になるように必要に応じ、遮音壁を設けるなどしてください。

バキュームクリーナー&ブロワご使用に際し

先に、電動製品全般に関わる共通の警告・注意事項を述べましたが、バキュームクリーナー&ブロワのご使用の際にはさらに、次に述べる警告・注意事項を守ってください。

△ 警 告

- ご使用前には必ず取扱説明書を十分お読みになり、指定された用途以外にはお使いにならないでください。
- 本体は屋内専用です。雨中や湿気の多い場所では使用しないでください。
 - * 感電の原因になります。
 - * 乾湿両用でも防水構造ではありません。モーターが濡れるような使い方をすると、絶縁低下、感電や発錆の原因になります。
- 銘板に表示された条件でご使用ください。
 - * 使用電圧は交流100Vです。200Vや直流電源では使用しないでください。表示を超える電圧でご使用になるとモーター回転数が異常に高速となりモーターの焼損ばかりか、けがの原因になります。
- 定格15A以上の電源コンセントを単独でご使用ください。
 - * 他の器具との併用で、電源コンセントの容量を超えると異常発熱や火災の原因になります。
- 使用中は吸込口周辺に顔や手を近づけないでください。
 - * 思わぬ事故やけがの原因になります。
- 次のようなものは吸込ませないでください。
 - ガソリン、シンナー、ベンジン、塗料、灯油などの引火物質、ニトログリセリンなどの爆発性物質、アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン・黄リン、セルロイドなどの発火性物質。
 - 釘、カミソリの刃など鋭利な金属破片など。
 - 火のついた、たばこの吸殻や焚火の後始末など、高温のもの。
 - 油類、熱湯、薬液、洗剤などの発泡性のある液体など。
 - * 火災やけがの原因になります。
- 本体の吸込口、排風口をふさいだ状態で使用しないでください。
 - * モーター温度が異常に上昇し、モーターの焼損やその他、部品の変形の原因になります。
- 湿式での使用時に吸込んだ液体の量が規定量を超えると、内部のフロートが作動して吸込まなくなります。
 - * 直ちに電源スイッチを切り、タンク内の液体を排出してください。フロートが作動して、吸込みが停止しても、モーターは回転したままの状態です。
- 誤って本体を、落としたり、ぶつけたときは、本体や、付属部品に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - * 破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
- 使用中、本体の調子が悪かったり異常音がしたときは、ただちに電源スイッチを切り、使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - * そのまま使用すると、けがの原因になります。
12. 停電やブレーカーが作動したときは必ず、本体の電源スイッチを切ってください。
 - * 停電、プラグの外れ、ブレーカーの作動により、モーターが停止したときは、必ず電源スイッチを切ってください。
 - 電源が回復したときに急に始動し、けがの原因になります。

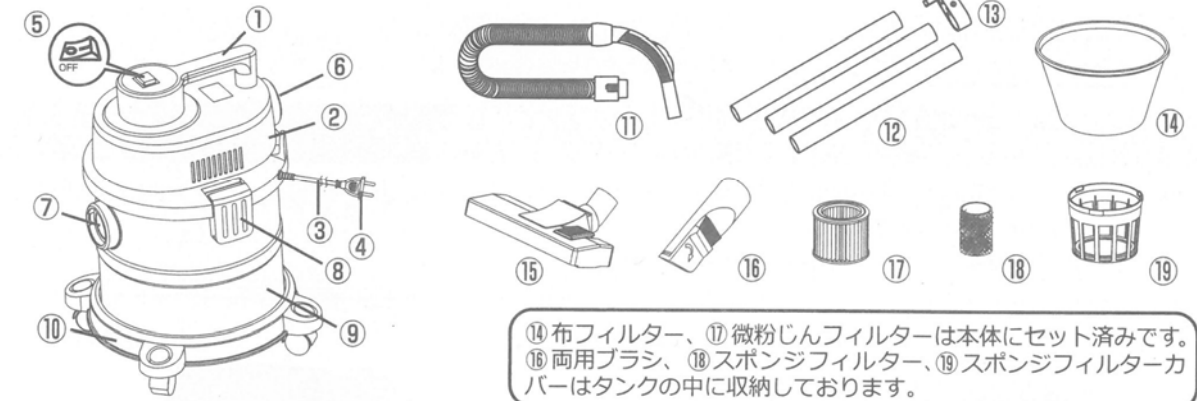
⚠ 注 意

1. 必ず、布フィルターを装着してご使用ください。
* 布フィルターが装着されていないと、トップフードとタンクに隙間ができ、粉じんや液体が飛散する原因になります。
2. 湿式で使用された後は、布フィルター及びタンク内を十分乾燥させてから乾式集じんを行ってください。
* 濡れたままで乾式集じんを行いますと、フィルターの目詰まりの原因になります。
3. タンク内に溜まった粉塵や液体は、作業終了時に廃棄してください。
* そのまま放置しますと、悪臭やカビ、発錆の原因になります。
4. 本体に乗ったり、座ったりしないでください。
* 本体の破損、変形ばかりでなく、転倒するなどけがの原因になります。
5. 本体を火気に近づけないでください。
* 本体の変形の原因になります。

⚠ 警 告

1. きちんとした服装で作業を行ってください。
* だぶついた衣類や装身具の着用は電動工具の回転部に巻き込まれる恐れがありけがの原因になります。
* 長い髪は帽子やヘアカバーで覆ってください。
2. 必ず保護具を着用してください。
* 作業時には、保護メガネ、防じんマスク、イヤーマフなど、作業の形態に応じ保護具を着用してください。

各部の名称



⑭ 布フィルター、⑰ 微粉じんフィルターは本体にセット済みです。
⑯ 両用ブラシ、⑱ スポンジフィルター、⑲ スポンジフィルターカバーはタンクの中に収納しております。

- | | | |
|----------|---------------------------|-------------------------------------|
| ① ハンドル | ⑨ タンク | ⑯ 両用ブラシ
(タンクの中に収納しております。) |
| ② トップフード | ⑩ キャスター付ベース | ⑰ 微粉じんフィルター
(本体にセット済みです。) |
| ③ 電源コード | ⑪ ホース | ⑱ スポンジフィルター
(タンクの中に収納しております。) |
| ④ プラグ | ⑫ 延長パイプ | ⑲ スポンジフィルターカバー
(タンクの中に収納しております。) |
| ⑤ 電源スイッチ | ⑬ 留め口 | |
| ⑥ 排風口 | ⑭ 布フィルター
(本体にセット済みです。) | |
| ⑦ 吸引口 | ⑮ 乾湿両用ブラシ | |
| ⑧ 留め具 | | |

仕様・用途

● 仕様

型 式 名	クリーナー&ブロワ・16L	クリーナー&ブロワ・20L
タ イ プ	乾湿両用	
定 格 電 圧	単相交流 100V 50-60Hz	
定 格 消 費 電 力	1100W	
吸 込 み 仕 事 率	160W	
定 格 時 間	20分	
風 量	1.6m ³ /min	
真 空 度	16 kpa	
騒 音 値	80dB	
タンク容量	16ℓ	20ℓ
吸 水 量	6ℓ	10ℓ
絶 縁 方 式	二重絶縁構造	
電源コード長さ	約 3.8m	
本体寸法(縦・横・高さ)	340x340x510mm	340x340x570mm
質 量	約4.4Kg	約4.9Kg

● 用途

- * 屋内作業現場の清掃
- * 電動工具での加工時に発生する、コンクリートや木材の研削、切断、穴あけによる粉じんの集じん及び、吹飛ばし
- * 床にこぼした水などの液体の吸い込み

ご使用前の準備

ご使用に備え次の手順で本体をセットアップしてください。

警告

- 本体への部品の取付けは電源スイッチが切れていることを確認し、プラグは電源コンセントから抜いてください。
* 不意に始動し、けがの原因になります。

- ① タンク内の布フィルターの下に、付属部品の一部が入っています。
タンクの留め具を開き、トップフードを引き上げ、布フィルターを取外し、タンク内の付属部品を取出してください。

【注】 部品を取出し、タンクにトップフードを取付ける際は、布フィルターをタンクの縁に、確実に取付けてください。

- ② タンクに付属のキャスター付ベースを取付けてください。

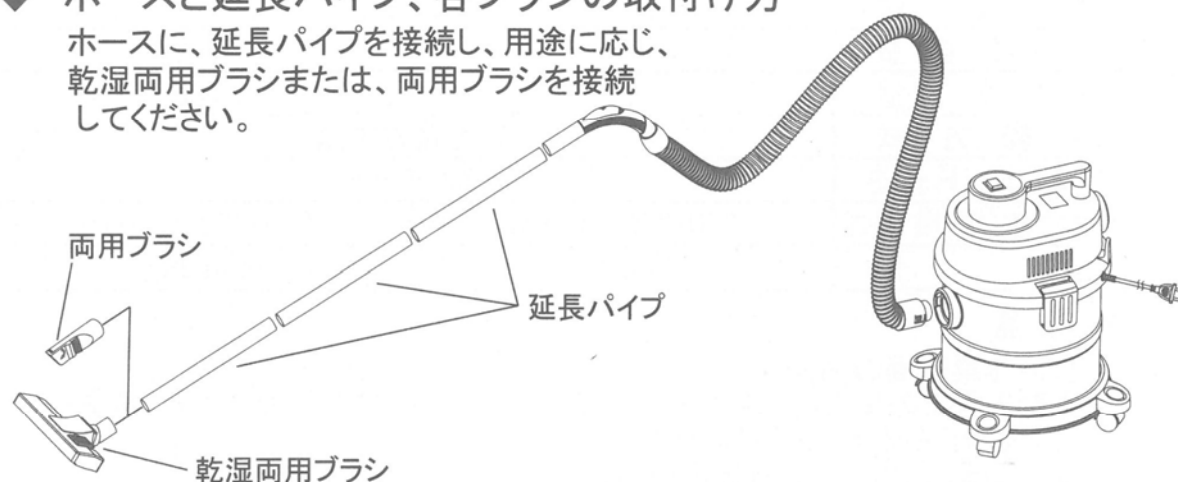
【注】 タンクはキャスター付ベースに確実に取付けてください。一度、タンクに取り付けられたキャスターベースは取外すことはできません。

- ③ ホース取付け口の切込み部を指で押しながら、タンクの吸入口の切欠け部に、ホース取付け口の凸起部を、カチッと音がするまで差込んでください。

* ホースを取外すときは、ホース取り付け部の切込み部を指で押さえながら、ホースを引抜いてください。

◆ ホースと延長パイプ、各ブラシの取付け方

ホースに、延長パイプを接続し、用途に応じ、乾湿両用ブラシまたは、両用ブラシを接続してください。



◆ フィルターの確認

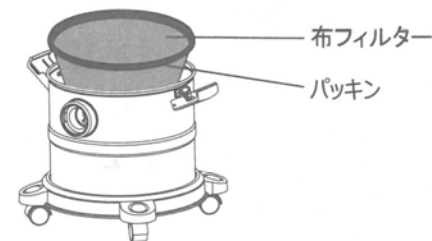
注意

1. フィルターは必ず取付けてご使用ください。
* フィルターを取付けずに使用すると、モーター内部に粉じんが入りモーターの損傷の原因になります。
2. フィルターは消耗品です。フィルターが古くなったり、破損した場合は早めに新品と交換してください。
* 交換部品はお買い上げの販売店に依頼してください。

● 布フィルター

布フィルターは乾式、湿式共に使用します。布フィルターの取付け部（パッキン部）をタンク外周縁に確実に取付けてください。

【注】 タンクとトップフードとの間に隙間が生じると吸入能力の低下や粉じんの漏れの原因になります。



ご使用前の点検

ご使用前に次のことを確認してください。

1. 使用電源の確認

必ず銘板に表示されている電圧で使用してください。

* 表示以外の電圧や直流電源で使用するとモーターの損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. 電源スイッチが切れていることの確認

電源スイッチが入っているのに気が付かず、プラグを電源コンセントに差し込むと、不意に本体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

* 電源スイッチは「I」側を押すと入り、「O」を押すと切れます。

3. フィルターの確認

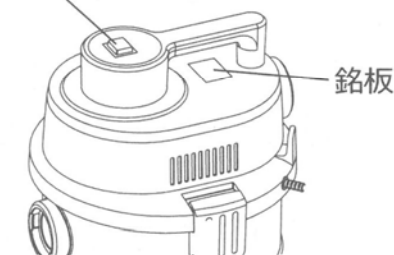
フィルターは、「用途別フィルターの取付け・取外し」の項を参照のうえ、正しく取付けられていることを確認してください。

4. 電源コンセントの確認

プラグを電源コンセントに差し込んだとき、プラグと電源コンセントがガタついたり、すぐに抜けるようであれば修理が必要です。

* そのまま使用しますと、事故や故障の原因になります。

電源スイッチ



ご使用方法

◆ 用途別フィルターの取付け・取外し

警告

- フィルターの取付け・取外しは、電源スイッチを切り、プラグを電源コンセントから抜いてください。
* 不意な始動によりけがの原因になります。

注意

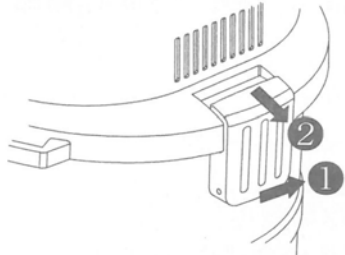
- フィルターは必ず取付けてご使用ください。
* フィルターを取付けずに使用すると、モーター内部に粉じんが入りモーターの損傷の原因になります。
* 布フィルターは、乾式・湿式共に取付け、トップフードとタンクとの間に隙間のないように取付けてください。

<乾式使用>

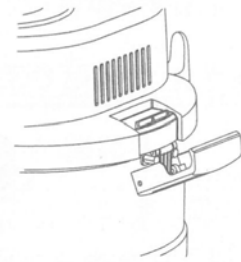
出荷時には、乾式で使用できるようにセットアップしてあります。フィルターが確実に取付いていることを確認してください。

○ フィルターの確認の方法

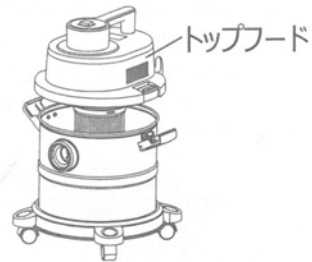
* トップフードとタンクを固定している2か所の留め具を外し、ハンドルを持って、トップフードを持ち上げて取外します。



* 留め具を外します。
①引き上げ、②起こす



* 留め具解除



* ハンドルをもって、
トップフードを持ち上げる

通常、布フィルターのみで使用できますが、微粉じんを含む吸込みは、微粉じんフィルターの併用をお勧めします。

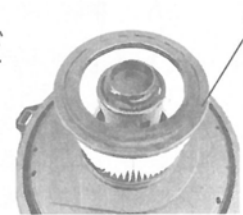


布フィルター

● 微粉じんフィルターの取付け・取外し方 図のように微粉じんフィルターを取付けてください。

【注】

フィルターカバー押えでしっかり固定してください。
フィルターカバー押えは時計方向に回せば、ロックし、反時計方向に回せば解除します。



微粉じんフィルター



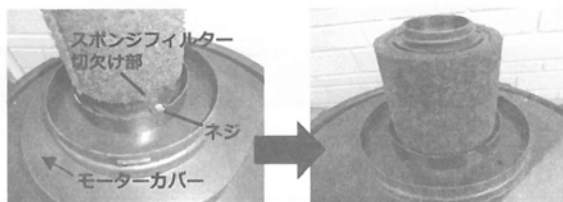
フィルターカバー押え

解除 ロック

<湿式使用>

湿式で使用する場合は、スポンジフィルターを取付けます。
乾式で使用した、微粉じんフィルターは取外してください。
取外しは微粉じんフィルターの取付けの逆順でおこなってください。

スポンジフィルターの切欠け部を、トップフード裏面のモーターカバー部のネジ部に合わせ取付けてください。取外しは、取付けの逆順で行ってください。



スポンジフィルターを取付ける
* スポンジフィルターの切欠け部をモーターカバーのネジ部に合わせる



フィルターカバーを取付ける



フィルターカバー押えで固定する

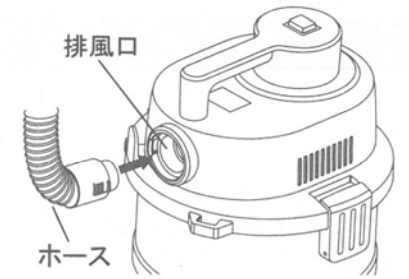
* フィルターカバー押えは、時計方向に回せばロックし、反時計方向に回せば解除することができます。

◆ ブロワとしての使用方法

トップフードの排風口にホースを取付けてください。

* ホースの取付けは「ご使用前の準備③」で説明のホースの取付けを参考にしてください。

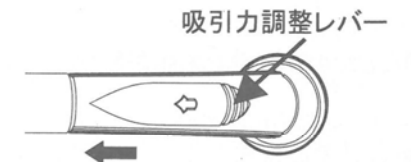
【注】 ホースの取付け、取外しは必ず電源スイッチを切ってから行ってください。



◆ 吸引力の調整方法

ホースの吸引力調整レバーの操作で、吸引力の調整ができます。

調整レバーを、図⇒方向にスライドさせ、隙間の程度により、吸引力を調整します。



◆ 延長コードを使う場合

警告

- 延長コードは損傷のないものを用意してください。
* 傷がついていると、断線や感電の原因になります。

延長コードは電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。表は、使用できるコードの太さ(導体公称断面積)と最大長さです。

コードの太さ	最大長さ
1.25mm ²	10m
2.0mm ²	20m

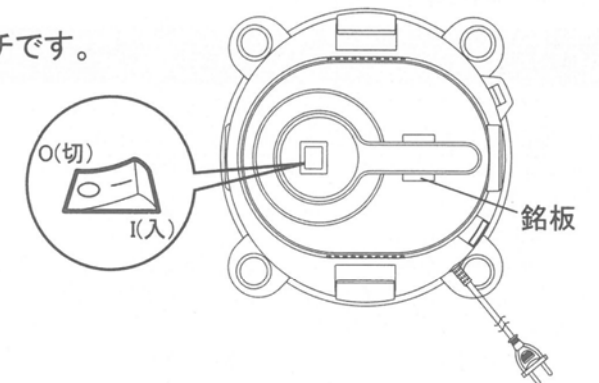
◆ 電源スイッチの操作方法

警告

- 電源は、必ず銘板に表示された電圧で使用してください。
* 表示を超える電圧や直流電源での使用はモーターの破損や、けがの原因になります。

電源スイッチはシーソー型スイッチです。

【I】側に押しすと入り、
【O】側に押しすと切れます。



◆ 作業方法 運転

警告

- 電源コンセントにプラグを差込む前に、電源スイッチが切れていることを必ず確認してください。
- * 電源スイッチが入ったままプラグを電源コンセントに差込むと急に始動し事故の原因になります。
- 作業中は電源コードが、角張ったところに引っ掛けたり、重量物で押し潰さないでください。
- * 断線や感電の原因になります。
- 湿式での使用の場合は、安全のため、ゴム手袋やゴム底の長靴を着用し、万一の事故に備えてください。
- * 感電の原因になります。
- 湿式での使用では、吸込んだ液体を廃棄するときには、必ず事前にプラグを電源コンセントから抜いてください。
- * 感電の原因になります。
- 湿式での使用で本体が転倒した場合は、直ちに電源スイッチを切り、プラグを電源コンセントから抜いてください。
- * 安全のために必要です。
- 湿式での使用では、吸込んだ液体が規定量に達すると、内部のフロートが働いて吸込みを停止します。吸込みは停止しても、モーターは回転していますので、速やかにスイッチを切ってください。
- * モーターの温度が異常に高くなり、焼損や、部品の変形の原因になります。

注意

- ご使用前にフィルターが確実に取付けられていることを確認してください。
- * フィルターを取付けなかったり、確実に取付けられていないと、モーターの損傷や、粉じんの飛散の原因になります。

◆ 作業別ブラシの選び方

床面の集じんには乾湿両用ブラシで、隙間などの狭い場所は両用ブラシを使用してください。

□ 乾湿両用ブラシ

【乾式の場合】

レバーを起こすと刷毛が出て、細かい粉じんの集塵に効果的です。

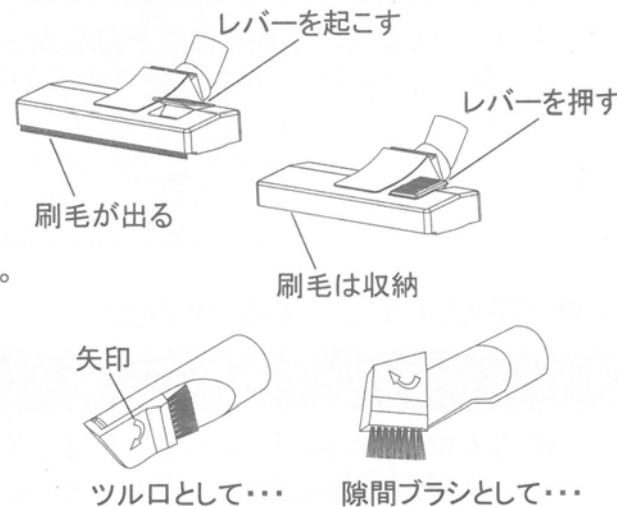
【湿式の場合】

レバーを押すと、刷毛は収納され、ブラシの接面に取付けたゴムシールにより、液体の吸込みに効果的です。

□ 両用ブラシ

乾湿両用ブラシでは行き届かない隙間や隅部の集じん、液体の吸込に使用します。

ツル口部先端の矢印方向に起こすことで、ツル口とブラシの二通りで使用できます。



◆ フロート機構について

警告

- フロートが作動したまま運転を続けしないでください。
- * モーターの温度が上昇し、焼損や部品の変形の原因になります。
- 洗剤などの発泡性の液体や泡を吸込ませないでください。フロートが作動する前に排風口から泡が噴き出します。
- * そのまま使用すると、感電や故障の原因になります。

本体には、一定量の液体を吸込んだ場合に、モーター内に液体が入るのを防ぐフロートが付いています。フロートが作動すると、液体を吸込まなくなります。そのときは、速やかに電源スイッチを切り、タンク内の液体を捨ててください。

【注】乾式作業でも使用中に、本体が転倒するとフロートが作動し、吸込まなくなることがあります。この場合は、速やかに電源スイッチを切り、本体を起こしてから、再度電源スイッチを入れてください。

◆ 粉じん、液体の廃棄

警告

- 必ず電源スイッチを切り、プラグを電源コンセントから抜いてください。
- タンク内に液体が入ったまま、本体を横倒しにしないでください。
- * トップフード内のモーター部や電源スイッチ部に液体が入り、感電やモーターの故障の原因になります。

注意

- タンクに強い衝撃を与えないでください。
- * 変形、破損の原因になります。
- タンク内の粉じんや液体は、使用の都度、廃棄するようにし、本体、フィルターを常に清潔に保ってください。
- * 変形、破損の原因になります。吸引力の低下や、モーターの故障、悪臭の発生、発錆の原因になります。
- タンク内の粉じんや液体を廃棄するときは、タンクの留め具を持たないでください。
- * 留め具の破損の原因になります。
- フィルターはこまめに掃除を行い、常にきれいな状態で使用してください。
- * フィルターが目詰まりをすると、吸引力の低下の原因になります。

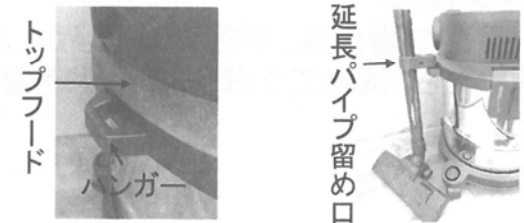
使用中、タンク内に粉じんや液体が溜まりすぎると吸引力の低下になります。使用後は、常にタンク内やフィルターの手入れをしてください。

◆ 収納方法

本体の各部を利用して、収納ができる設計がされています。使用後は、次の使用に備え、部品の損傷や紛失を防ぐための手段としてご利用ください。

□ ホースの収納

トップフードのハンガー部に延長パイプの留め口を差込んでください。



□ 電源コードの収納

電源コードは、トップフードの外周部のフック部を利用できます。



□ 付属部品の収納

乾湿両用ブラシ、延長パイプ、両用ブラシなどを、キャスター付ベースのホルダーに差込んでください。

